

# 01 Report

## 「平成31年度オーストリア・スロバキア視察研修」事業を実施

今年度は、欧州の中央に位置し、欧州東西を結ぶハブとして国際企業のビジネス拠点が進出し、産学連携の取組も盛んでスタートアップ企業が多いオーストリア、及び自動車産業や電気電子関連産業の集積があり、高い労働生産性と優秀な労働力が確保でき、人材の宝庫と謳われているスロバキアを訪問しました。

実際に訪問視察を行うことで、最新の現状と課題について見聞を広めることができました。

■日時 平成31年4月14日(日)～20日(土) ■参加者数 14社・団体、18人

■訪問国 オーストリア共和国、スロバキア共和国

### ■視察・訪問先

【オーストリア ウィーン近郊】

- ・エコドナ(環境関連/緑藻の培養) ・アウガルテン(伝統産業/伝統磁器工房)
- ・シュピテラウ焼却場(環境関連/焼却施設) ・メッセ・ウィーン(MICE関連)
- ・オーストリア国立図書館(MICE関連)

【オーストリア リンツ近郊】

- ・アルスエレクトロニカセンター(デジタルアート研究開発機関)
- ・ケーバ(ファクトリーオートメーション)

【スロバキア プラチスラバ近郊】

- ・フォルクスワーゲン(自動車) ・アンリツ・ソリューションズ(計測器の開発)

### ■参加者の感想(抜粋)

- ・視察先で、活躍している日本人や企業の高い志に触れ、深い感銘を受け、今後自社の経営にも活かしていきたいと思った。
- ・広島県も製造業に強みを持つ産業構造を有したものづくりの県だが、さらなる生産性向上や高付加価値化は喫緊の課題。類似の状況に直面している両国の取組や、企業の対応を実地に学べたことは非常に貴重な機会となった。
- ・「人材の宝庫」と呼ばれているとおり、現在の日本と異なり、視察先企業でも人材の確保に困られている様子は伺えなかった。
- ・今後の海外進出でどのような点に留意するかのヒントを多く得、今後に生かして行きたいと思った。
- ・今回もまた国の成長力の差を感じずにはいられなかった。外から日本を見ることの大切さを痛感した視察だった。



エコドナ社の太陽光で培養している藻の生産施設外観



アウガルテンの磁器工房での製造風景



ケーバ社ショールーム

お問い合わせ 国際ビジネス支援センター TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628